



東郷の神楽舞

〔第三区〕

がら、さらに後かぶりが一段と獅子幕を高く上げながら四方を清め舞う。

② 幣 舞……前かぶりの人が右手に幣束を持ち、一人で三角に舞う。

③ 矢 車……前かぶりの人が鈴を右手に、幣束を左手に持ちかえて四方固めと同じく二人で舞う。この時、後かぶりの人は、獅子幕の巻きつけたものを持つ。

由来と沿革……伝えられた時代など明らかでない。獅子頭は現在で二代目であり、大正三、四年頃、衣装を新調したという。(秋元マサ氏・八七歳の話)

東郷 神楽

名称と所在地……上川内に鎮座する諏訪神社に奉納される神楽で、「神楽舞」「長獅子」などと呼ばれる。行われる時期と場所……諏訪神社の春秋の例祭に境内で奉納される祭礼は、かつて旧暦四月七日と同七月二十七日であったが、現在は新暦五月五日と同九月十五日である。

秋祭りには、おさがりと称し、諏訪神社から農協までの区間を、天狗を先頭に宮司、西郷獅子、御旗、神輿、東郷神楽、巫女、御弓……の順に行進を行う。

九月十六日には、「村まわり」と称して東郷全域を青年総出で各戸をまわり、神楽を奉して悪魔払いを行う。